【授業科目】産業看護学演習Ⅱ（研究方法） Advanced Seminar of Occupational Health NursingⅡ

担　当　教　員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	オフィスアワー
後藤 由紀、柴田 英治、大谷 喜美江	１年次 前　期	選　択	２	６０	演　習	巻末 掲載

授業概要 （内容と進め方） 及び 課題に対する ﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	学生が関心を抱く産業看護領域において、自らの研究課題の論理的・実践的探求を行う。データを実際に分析することにより、個人・家族・組織・集団を対象とした産業看護における課題を発見し、解決へのアプローチ方法について検討する。これらを通し研究の実践能力を養う。授業は実務家教員（後藤、柴田、大谷）が進める。 課題に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法／授業時間内に学生とのディスカッションを通して検討する。
授業の 位置づけ	本大学院のディプロマ・ポリシーの④の達成に寄与している。
到達目標 （履修者が到達すべき目標）	①産業看護・公衆衛生看護に関連する研究デザインについて理解する。 ②研究対象の特性に応じた量的データ、質的データの分析ができる。 ③得られた結果についての解釈ができる。 ④産業看護・公衆衛生看護学における課題のアプローチを考察できる。
時間外学習に 必要な 内容・時間	事前にテーマについて教科書、講義で紹介する関連書籍・雑誌を読んで、自身の疑問点や意見を整理しておく。（120 分） 事後は授業での討議内容について振り返り、さらに学びを深める。（30 分） ※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間（２単位１５回科目の場合：予習+復習４時間／１回）（１単位１５回科目の場合：予習+復習１時間／１回）（１単位８回科目の場合：予習+復習４時間／１回）を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。

授業計画	第１回　　オリエンテーション 第 2～5 回　産業看護学領域における研究の特徴（研究対象者・収集方法・倫理的配慮など） 第 6～15 回　産業看護学領域における量的データの分析と解釈 6,7 回　データのクリーニング 8,9 回　記述統計 10-12 回 2 変量間の分析 13-15 回 多変量解析 第 16～25 回 産業看護学領域における質的データの分析と解釈 16,17 回 データの切片化 18,19 回 質的記述的分析 20,21 回 内容分析 22,23 回 質的統合法(KJ 法) 24,25 回 M-GTA 第 26～29 回 プレゼンテーション 第 25 回までを通した個人・家族・組織・集団を対象とした産業看護学領域における課題へのアプローチ方法について省察 第 30 回　　まとめ	全て 後藤、柴田、大谷

評価方法 評価基準	授業への参加態度　50%、　レポート・プレゼンテーションの総合評価　50%		
教科書	適宜紹介する	参考書等	KennethJ. Rothman （著）, 矢野 栄二ら（翻訳）：ロスマンの疫学第2版 その他、広範囲にわたる参考書が必要なため、授業時に提示する。